



ワのけやぐも皆して死んでしまった
 八月二十一日に安房の和助が死んだ
 次の二十二日、八反田の文五郎だべ
 その次の二十三日、土堂の万藏



◎演劇公演／青年団リンクホエイ ◎作・演出／山田百次(劇団野の上)
 ◎総合プロデューサー／平田オリザ

珈琲法要

12月13日(土)◎開演／15時・19時
 14日(日)◎開演／13時

※開場は開演30分前となります。※上演時間は約75分(休憩なし)を予定しております。

◎会場／中三弘前店8F スペースアストロ
 ◎チケット料金／予約・前売り・当日共に 1000円(税込)
 全席自由席・日時指定

◎主催／弘前は珈琲の街です委員会
 ◎後援／日本コーヒー文化学会 あおもりコーヒーライセンス委員会
 青森朝日放送株式会社 青森放送株式会社 株式会社青森テレビ 東奥日報社 陸奥新報社
 ◎お問い合わせ／弘前は珈琲の街です委員会事務局(成田専蔵珈琲店内) TEL.0172-28-2088

珈琲法要

●作・演出／山田百次(劇団野の上)
 ●出演／菊池佳南、河村竜也、山田百次(劇団野の上)
 ●スタッフ・照明／井坂浩 ●制作／赤兎千久子

幕末

度重なるロシアの侵略により、幕府は蝦夷地北方警備のため計三千名の出兵を東北諸藩に命じた。体験した事のない蝦夷の寒さ、いつ来襲するかも分からないロシア軍に兵士たちは怯えていた。

なかでも宗谷岬や斜里地方に配属された津軽藩兵の環境は劣悪だった。寒さと栄養失調のため、手足が白く浮腫み大きく腫れ上がる病に罹り、津軽藩兵は次々に亡くなっていた。

ワのけやぐも皆して死んでしまった
 八月二十一日に安房の和助が死んだ
 次の二十二日、八反田の文五郎だべ

その次の二十三日、土堂の万蔵

そんな中、南蛮渡来の飲み物「珈琲」が津軽藩兵のもとに配給された。人々はその万病に効くといわれる飲み物を、病が治ると信じて飲むのだった。

山田百次 やまだももじ

青森を拠点に活動する劇団野の上主宰。
 2010年「ふすまとぐち」(こまばアゴラ劇場)で劇団野の上を旗揚げ。作・演出・出演もする。本拠地の青森のほか東京、札幌、大阪、三重などの地方公演も積極的に行っている。俳優として渡辺源四郎商店、カスガイなど客演多数。



©田中流『珈琲法要』2013年

上演にあたって

青森県黒石市にある黒森山浄仙寺では毎年、北方警備で殉難した津軽藩士のための供養を行っており、『珈琲法要』はその20周年記念として2010年に劇団野の上が浄仙寺本堂で上演、奉納した作品でした。最初にこのエピソードを友人から提案されたときは、あまりに悲惨な過去と、しかもそれが史実から消されていることに衝撃を受けました。資料を調べていくうちに、幕府からの場当たりの指令、過酷な環境のなかで命を落としていく様子がわかってきました。

2013年、プロデューサーで俳優の河村氏の提案により青年団若手自主企画で上演する機会を与えられ、それをキッカケに弘前市の成田専蔵氏の助力によって今回の弘前で公演が実現することになりました。殉難された藩士の方々が、「忘れないでくれ、この話をもっと広めてくれ」と強く訴えているように感じています。

三人芝居で1時間強という小品ではありますが、その当時の人たちの、恐怖に怯え、病にのたうちまわりながら、それでも「生きた」という証しを体験してもらえたらと強く願います。

(劇団野の上 山田百次)

劇団野の上の山田百次は、津軽弁を用いることを大きな特徴のひとつとしていますが、土着的視点から生き生きとした劇を立ち上げることのできる劇作家兼演出家、その点に私は一番好感を持っています。

本作品は、津軽藩士2名とアイヌ人1名が登場する三人芝居です。およそ200年前の話ですが、国境という境界、民族という境界、それから生死の境界におかれた人間の有様は、現代の日本人にも通ずる個と集団のアイデンティティを浮き彫りにすると確信しています。

(青年団 河村竜也)

青年団リンク



WHEY

Twitter @WheyTheater

12月13日(土) ●開演 / 15時・19時

14日(日) ●開演 / 13時

※開場は開演30分前となります。

※上演時間は約75分(休憩なし)を予定しております。

●会場 / 中三弘前店8F スペースアストロ

弘前市土手町49-1 TEL.0172-34-3131

●チケット料金 / 全席自由席・日時指定
 予約・前売り・当日共に 1,000円(税込)

前売券は、弘前市立観光館、まちなか情報センター、成田専蔵珈琲店にて販売しております。また、メールにて予約販売も受け付けております。メールで予約する方は、下記の情報をお書きいただき送信してください。確認のうえ、折り返し返信いたします。チケット料金は当日会場でお支払いください。

件名 珈琲法要チケット予約

①お名前(ふりがな) ②TEL ③観劇日時 ④枚数

チケット予約メールアドレス / senzo@naritasenzo.co.jp

